

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）平成30年4月1日 （至）平成31年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	34,936,041	37,897,674	-2,961,633
	障害福祉サービス等事業収益	153,398,399	156,260,549	-2,862,150
	サービス活動収益計（1）	188,334,440	194,158,223	-5,823,783
	費用			
	人件費	85,401,120	86,649,391	-1,248,271
	事業費	16,218,164	16,867,418	-649,254
	事務費	15,321,302	12,560,035	2,761,267
	就労支援事業費用	44,421,127	54,027,911	-9,606,784
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,848,806	-7,600,922	1,752,116
サービス活動費用計（2）	155,512,907	162,503,833	-6,990,926	
サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	32,821,533	31,654,390	1,167,143	
収益				
受取利息配当金収益	1,937	107	1,830	
サービス活動外収益計（4）	1,937	107	1,830	
費用				
サービス活動外費用計（5）	0	0	0	
サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	1,937	107	1,830	
経常増減差額（7）=（3）+（6）	32,823,470	31,654,497	1,168,973	
別増減の部				
収益				
サービス区分間繰入金収益	99,028,016	118,393,830	-19,365,814	
特別収益計（8）	99,028,016	118,393,830	-19,365,814	
費用				
サービス区分間繰入金支出	99,028,016	118,393,830	-19,365,814	
特別費用計（9）	99,028,016	118,393,830	-19,365,814	
特別増減差額（10）=（8）-（9）	0	0	0	
当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	32,823,470	31,654,497	1,168,973	
繰越活動増減差額の部				
前期繰越活動増減差額（12）	469,435,044	437,600,547	31,834,497	
当期末繰越活動増減差額（13）=（11）+（12）	502,258,514	469,255,044	33,003,470	
基本金取崩額（14）	0	0	0	
その他の積立金取崩額（15）	0	0	0	
その他の積立金積立額（16）	0	0	0	
次期繰越活動増減差額（17）=（13）+（14）+（15）-（16）	502,258,514	469,255,044	33,003,470	